



2024年1月1日

(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

〒891-0113

鹿児島市東谷山2-33-13

TEL・099-268-2084

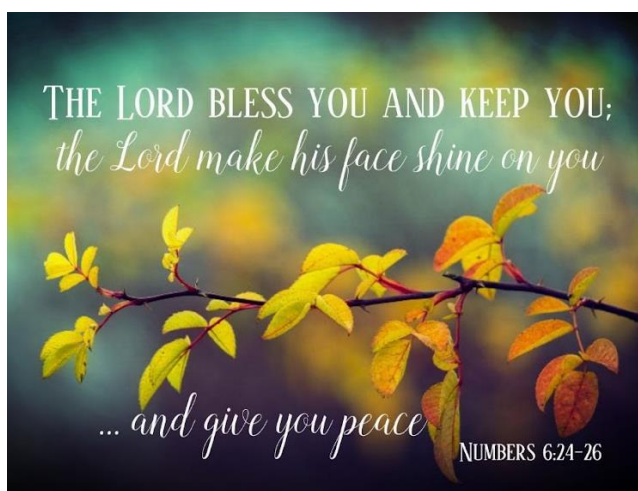
FAX・099-284-5738

E-Mail: taniyama-cc@Lagoonne.jp URL: <https://catholic-tc.jp>

発行人: 盛 克志神父 編集委員: 上原敏子、上釜照美、徳永珠美

新春の寿ぎ

主任司祭 盛 克志



新しい年、2024年がやってきました。皆さまにとって、新年も移り変わりゆくものの中で変わらない神さまの恵みが届きますように祈っています。

私たちにとって最も大きな慰めは、イエス・キリストが、今も私たちと「共におられる」ということです。これはイエスが昇天の前にガリラヤにおいて、「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」と約束されたことによります。この約束を信じて生きることに希望を持つことが大切です。

ルカによる福音書 24 章 50 節から 53 節には「それから、イエスは、彼らをベタニヤまで連れて行き、手を上げて祝福された。そして祝福しながら、彼らから離れて行かれた。彼らは、非常な喜びを抱いてエルサレムに帰り、いつも宮にいて神をほめたたえていた。」と記されています。お弟子さんたちにとっては非常な喜びに満たされたのですから、素晴らしい祝福であったに違いありません。その祝福の言葉は、今の私たちにも届けられています。神様の思いは、人を通して、み言葉を通して、出来事を通して日々私たちに示されます。

新年も、まことの神に信頼し、人には愛をもって接し、そして永遠に変わる事のない聖書の言葉に親しみながら歩んで行きたいものです。



「主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。」

(民数記 6 章 22 節から 27 節)

神ご自身が聖書の中で語ってくださったこの祝福の言葉に信頼しながら新しい一年を始めていきましょう。

1月の聖人から

1月1日 **神の母聖マリア 祭日**



聖母マリアは、神からのお告げによってイエス・キリストを懐胎した。

5世紀に、コンスタンチノーブルの司教ネストリウスが「キリストは、神性と人性という二つの異なる本質を持つ

ている。そして聖マリアは人間キリストの母<クリストコス>であるが、神の母<テオトコス>であるとはいえない」と唱え、教会を混乱させた。その解決のために、431年、エフェソ(現在のトルコ)公会議が開かれ、「キリストは、真の神、真の人間であり、両性は一致している」ことを再確認した。また「聖母マリアは、キリストの人性と神性における母であるので、神の母<テオトコス>と呼ばれる」ということを決定した。

この日はクリスマス(12月25日)から数えて8日目であり、昔からみどり子イエスと聖母マリアの関係を祝う習慣があった。「神の母」という祭日は、エフェソ公会議から1500年祭にあたる1931年に、教皇ピオ11世によって制定された。(聖パウロ女子修道会)

1月24日 **聖フランシスコ・サレジオ司教
教会博士 記念日**

フランシスコは、フランス、サヴォアの貴族の家に生まれた。パリ大学とパドバ大学に学んで、法学博士となり周囲からの期待も大きかったが、出世の道を望まず、司祭となることを選んだ。1593年に司祭に叙階され、ジュネーブ教区の司牧にあたった。当時は、宗教改革以来の混乱の中にあり、人びとを再び信仰に呼び戻すことに尽力した。その後、ジュネーブ司教補佐を経て1602年に司教となり、教区の刷新に努めた。フランシスコは、聖ヨハンナ・フランシスカ・ド・シャンタルを指導し、1610年に彼女と協力して「聖母訪問修道女会」を創立した。彼は、人びとに言葉と行ないをもって影響を与えるだけでなく、著作によっても人びとを導いた。『信心生活の入門』は、だれでも神の愛に生きられることをあかしし、各国語に翻訳されている。また神への愛を語った『神愛論』フランス文学の傑作の1つとされている。彼はカトリック新聞記者とカトリック著書の保護者とされている。



聖パウロ女子修道会



主のご降誕と
新年のお慶びを
申し上げます。



平和な年で
ありますよ
うに!

~12月の行事から~

12月3日 大掃除

かねて出来ないところ
を中心に頑張りました。



12月17日(日) クリスマス演奏会

アルフォンソ合唱団

美しい歌声をありがとう! クリスマスの歌、楽しかったです
一足先にクリスマス気分を味わうことができました。感謝!



十主の平安



谷山カトリック教会の皆様、昨年度は大変お世話になりました。ことしもよろしくお願ひします。

さて1月1日は世界中で新年を祝うこととなりますが、私たちカトリック信者にとって、この日は「神の母聖マリア」の祭日であり、「世界平和の日」でもあります。神の子・主イエス様を受け入れて下さることでこの世にキリストがお生まれになった。だから私たちはマリア様に感謝をするんです。そしてそれが世界平和の源でもあります。

というのもアダムとエバの時以来入ってきた悪意がキリストの誕生によって「神と他人と自分を愛する」世界へと種が蒔かれたからです。その種が落ちたところが私たちキリスト者、神が望まれる人々にその種は任されたのです。目に見えない神、主イエス・キリストを抱きながら主と共に生きる私たちは出会う人々に主の種を蒔いて回るのです。その最初の方が神の母聖マリア様といえます。神様と人との共同作業、コラボはマリア様から始まり、いま私たちに引き継がれているのです。これからの一年、またマリア様の取り次ぎを

願ひながら、主と共に歩む生活を続けましょう。互いに祈りのうちに。アーメン

ヤコブ・福崎英雄神父



ご聖体拝領の威力

2班 徳重 靖子

2023年11月26日の「王たるキリストの祝日」に谷山教会では中野司教様をお迎えして二人の堅信式がありました。私がお茶当番でしたが、仕事も一段落したころ、主人の席へ行きますと、一番前の司教様のお膝元でした。これは幸いと、先日来私の心を熱くしてくださっていた司教様の教区報10月号の「司教の手紙」の最後の文章を心に抱え、直々に感謝を伝えに参りました。

「キリストの体であるご聖体を頂く私たちは、キリストのように天の父のみ旨を最優先に生きる者に変化させられる、ということでもあります。」

これが私を感動させた文章です。その第一の理由は、なぜ毎週日曜日に教会に行く必要があるのかが受洗以来50年経った今やっと明確になったことです。第二にその変化の到着点は、キリストのようになるまでという悠遠なる目途だということです。

第一の理由、日曜毎にご聖体を頂くことによって、キリストのように、天の父のみ旨を最優先に生きておられるお方に少しずつ近づいていき、自分を変化させてくださるという保証が付いたのです。

ご聖体拝領の第二の特典は、キリストの体を頂くチャンスは平日の朝ミサ、水曜の夕ミサもあるのですから、どんどん教会に行き、キリストをよく知り、キリストに倣い、ミサに預かり、ご聖体拝領していると必ずキリストのようになれると約束されたのです。しかし冬場の朝はまだ薄暗く、夕方7時はもう暗いので、年寄りには運転は無理。夏場にどれだけ稼いでも80歳からの出発ですから自信もありませんが、ひょっとして、神様は私を長生きさせてくださり、ダークホースに仕立て上げてくださるかもしれません。頑張ってみようと思います。もし賛同者がいらっしゃったら、巡礼者は多いほど良いもの、同行者大募集です。



いえいえ、予想外のことが起きるかも。ファイト!!
神様、番狂わせ歓迎です。by 上釜

訃報

アンナ 奥田 美和子さん(99歳) 1班 11月21日死亡 永遠の安息をお祈り申し上げます。

令和6年(2024年)谷山教会01月の予定と祝日表(01月01日～01月31日)

日 時		典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会	
1日	月	祭日 10:00 神の母聖マリア *世界平和の日 / 元日 神の母聖マリアミサ/*10:00ミサ 後車の祝別				
2日	火	記念日 6:30 聖バジリオ聖グレゴリオ(ナジアンズ)司教教会博士 朝ミサ	今月の行事当番班は⑤・⑩班で			
3日	水	19:00 召命ミサ				
4日	木	6:30 朝ミサ				
5日	金	祝日 6:30 聖ヨハネノイマン司教(レデンプトール修道会聖人) 初金ミサ				
6日	土	19:00 主の公現のミサ			⑧⑨	教会
7日	日	祭日 6:30&9:00 主の公現 *10:30～ひまわり幼稚園七草祝い *14:00～ベトナム人共同体ミサ		⑧⑨		
8日	月	祝日 6:30 主の洗礼 朝ミサ 成人の日				
9日	火	6:30 朝ミサ				
10日	水	19:00 召命ミサ				
11日	木	6:30 朝ミサ				
12日	金	6:30 朝ミサ				
13日	土	19:00 年間第2主日のミサ/聖母の土曜日		⑩		
14日	日	記念日 6:30&9:00 福者ペトロドンダース司祭(レデンプトール修道会福者) 年間第2主日	⑩		教会	
15日	月	6:30 朝ミサ				
16日	火	6:30 朝ミサ				
17日	水	記念日 19:00 聖アントニオ修道院長 召命ミサ				
18日	木	6:30 朝ミサ	↑キリスト教一致祈禱週間 十八日～二十五日まで ①			
19日	金	6:30 朝ミサ				
20日	土	19:00 年間第3主日のミサ		①		教会
21日	日	記念日 6:30&9:00 聖アグネスおとめ殉教者 コミチウム13:30～ 年間第3主日/9:00ミサ後司牧評議会		①		
22日	月	6:30 朝ミサ				
23日	火	6:30 朝ミサ				
24日	水	記念日 19:00 聖フランシスコ・サレジオ司教教会博士 召命ミサ				
25日	木	祝日 6:30 聖パウロの回心 朝ミサ				
26日	金	記念日 6:30 聖テモテ 聖テトス司教 朝ミサ				
27日	土	19:00 年間第4主日のミサ			②③	教会
28日	日	記念日 6:30&9:00 聖トマス・アキナス司祭教会博士 年間第4主日 *世界こども助け合いの日(献金)	②③			
29日	月	6:30 朝ミサ				
30日	火	6:30 朝ミサ				
31日	水	記念日 19:00 聖ヨハネ・ボスコ司祭 召命ミサ				

ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00～	9, 16, 23, 30日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 13:30～	10, 17, 24, 31日
聖書と教理－Ⅱ	毎週金曜日 10:00～12:00	1月の講座はありません。